田中 清道

連合滋賀推薦決定候補者紹介

参議院議員選挙

滋賀県選挙区

島田







参院選 全国比例

















情報労連
石橋みちびる

滋賀県知事選挙 6月22日告示7月10日投開票

一日月十



滋賀県議会議員補欠選挙 (大津市選挙区) 7月1日告示7月10日投開票

野田武宏



新型コロナウイルスが猛威を振るっている。6月に入り少し落ち着いたかに見えるが、まだ安心は出来ない。かつて、15~16世紀にかけて、ペストが大流行し多くの犠牲者が出た。他にも甚大な被害が出た事例はいくつもある。もちろん人間だけではない。鳥インフルエンザや狂牛病など動物の世界でも同じような現象が起きた。こうした状況の中、当時の社会はどう対策を講じてきたのか。当然、医療関係者をはじめ多くの関係者があらゆる対策を講じただろう。しかし、結果的には自然のままに落ち着くのを待つだけであっただろう。

滋賀退職者連合 事務局長

現代、今なお技術革新や医療の進歩をもってしても、新型コロナの感染は止めることが出来ていない。関係者の 努力に敬意を表するが決定打はない。台風や地震などへの対応も同じである。やはり、伝染病や自然災害を前に して、人間社会は何の力も発揮出来ないのだろうか。まったくと言っていいほど「無力」だと思い知らされている。 ロシアのウクライナ侵攻など、今「戦争」などやっている場合ではない。その莫大なエネルギーを地球・人類を守る ために注ぐべきである。

ただ、一人ひとりの力は案外捨てたものではない。若いころにある大学の先生から「あしたの天気は誰にも変えることは出来ないが、明日の日本(社会)は我々の力で変えることは可能である」と。厳しい自然界に立ち向かうのは並大抵ではないが、みんなが力を合わせ、前へ前へと進むことが大事との教えである。

これからの課題に向けて、選択の時「参議院選挙」「滋賀県知事選挙」が目前に迫っている。それぞれの、考える明るい未来に向けて、大事な選択の機会をひとりひとり放棄せず、しっかりと考えましょう!



日 時:9月27日(火)9:45~

場 所:竜王町総合運動公園ドラゴンハット

コラム コロナ禍に楽しみを見つけて

UAゼンセン IKI・IKIライフクラブ滋賀県支部 髙間 照子

新型コロナウイルス感染症の影響でライフスタイルが一変してしまった。

たっぷりの時間がありながら愚痴をこぼし、無為に籠もっているだけでは、もったいないと、密を避け、わが街(大津駅界隈)の路地裏探検をすることにした。

周辺は、かつての東海道五十三次の大津宿があったところ。古くから宿場町、港町、門前町として栄え、逢坂の関を越えれば、すぐ京の都へと続く。百人一首にも「これやこの行くも帰るも別れつつ知るも知らぬも逢坂の関」と蟬丸が詠んでいる。明治24年、大津事件の発端となった「露国皇太子遭難の地」の碑を見つけた。

浜大津港に行けば豊臣秀吉が坂本城を廃城し築城した大津城跡(城主・京極 高次)がある。

コロナ禍になってからスケッチ画も始めた(元東レ滋賀執行委員・児玉紘一先生に師事)。わざわざ旅行に出かけなくても美しい琵琶湖を臨みつつ、日々新しい発見を楽しんでいる。







浜大津港

大津宿

^{連合・教育文化協会共催 第19 ®} 「私の提言」募集



「働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-」の 実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと (オリジナルで未発表のものに限る) 応募締切

2022年7月25日(月) 必着

☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者及び 審査対象外となった方を除く)。 ☆発表 2022年9月15日(木)予定 心募貸格

どなたでも応募できます。

心努力压

Webサイトの応募フォーム 応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会

E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp 電話 03-5295-5421

詳しくは 教育文化協会 私の提言 検索



いきいき元気に活動中!農業に無謀に挑戦中

自治労滋賀県本部退職者会 副会長 坂谷達也

連合滋賀結成から今年で33年 当事者の一人として係わり、時の流れの早さと社会の変貌に置いてけぼりを感じます。

「5月~6月取り出荷用キャベツの試験栽培に挑 戦している」こんな会話がきっかけになったと思いま す。私自身農業経験は定年退職までなく考えてみれ ば無謀な挑戦をしたものと改めて気づかされていま す。現在は水稲約2ha大豆1haキャベツ1ha 住まい する集落の小麦3haを任されている状況です。ここに 至る経緯や応援いただく仲間も紹介したいと思って います。私の住いする所は肥沃な田地が広がり視界 の中には緑豊かな丘陵が広がる蒲生野があります が、10数年前は荒廃した田畑が点在してその周囲 の畔草や排水路法面管理などは放置した状況でし た。集落内でも問題意識を持つ人もいましたが、担 い手が見つからない、離農する家庭が後を絶たない このような状況が農業に踏み出す結果に繋がってい ると思います。当時は作物も水稲中心で生産調整に よる小麦の作付けと麦後大豆が大半を占めていまし たが知人から出荷用キャベツの作付けを進められ キャベツ中心の耕作計画となっています。ところで植 付け、管理、収穫などの労力や機材についても明ら かにしておきたいと思います。1970年代周辺自治体 で熱心に企業誘致が進められ企業の進出と私の住 か町では3000区画の宅地造成工事が並行して進み 大規模な長峰団地ができました。多く転入いただくこ ととなりました。定年退職して持ち回りと言わんばかり





に自治会の役が付き、自治体が招集する自治会選出委員の会合を通じて長峰団地に住居を構える世代の近い方々と交流の場もでき、農作業の手伝いをお願いしたところ想定を超えるうれしい結果となりました。いきなり6名の紹介があり急遽長峰農援隊を構成することが出来ました。応援いただく皆さんも農業経験は皆無に近く貸農園で家庭菜園をと2名の方から話がありました。こうした状況でも不安を感じたことはなく仲間ができた喜びが勝っていたように思います。もし怪我や事故が起こった場合の対応は労災保険の窓口紹介が確認でき、現在より小規模でありましたが故郷を守る決断をしたのだと思います。

多くの投資をしてきました。私が耕作に関われる期間に回収することは不可能と思っています。私の視界に刈取りを待つ小麦圃場と田植え後の早苗が定位置はここぞとばかりに背伸びする景色が人の手で管理されたあぜ道から浮かび上がるさまはこれぞ最も大事な財産だと言い聞かせています。甲高いヒバリのさえずりも応援歌に聞こえます。

まもなく長峰農援隊結成から10年になります昨年新たに女性部の新設を集落内の皆さんも含めて計画、2名の協力を得てブロッコリーの収穫作業が出来ました。現在10名の協力を頂いています。

何処も農村集落では、後継者いわゆる担い手不足が深刻で、町内において長峰農援隊が知れわたることとなり営農組合・農業法人など紹介してほしいと申し入れがあります。①休憩時間は20分以上確保②湯茶は必ず準備③雇入費は県内最賃以上の条件を付けて紹介。町内の圃場約200haの管理や収穫の手伝いをしていただいています。